

ミズニラ

Isoetes japonica A.Br.

ミズニラ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

生育地がごく稀で開発可能な丘陵地である。(現況:R-)

形態

葉は細長く4稜ある円柱形で長さ10~30cmになる。葉脈は1本、塊茎は3裂している。葉の付け根に孢子嚢があり、多数の孢子ができる。

国内分布

本州、四国、九州、対馬。

県内分布

中能登区。

生態など

常緑性または夏緑性の沈水性ないし抽水性水生植物である。ときには湿地にも自生する。繁殖は孢子による。孢子は大孢子と小孢子の異形孢子からなる。8月頃熟し始め、水散布する。

生育環境

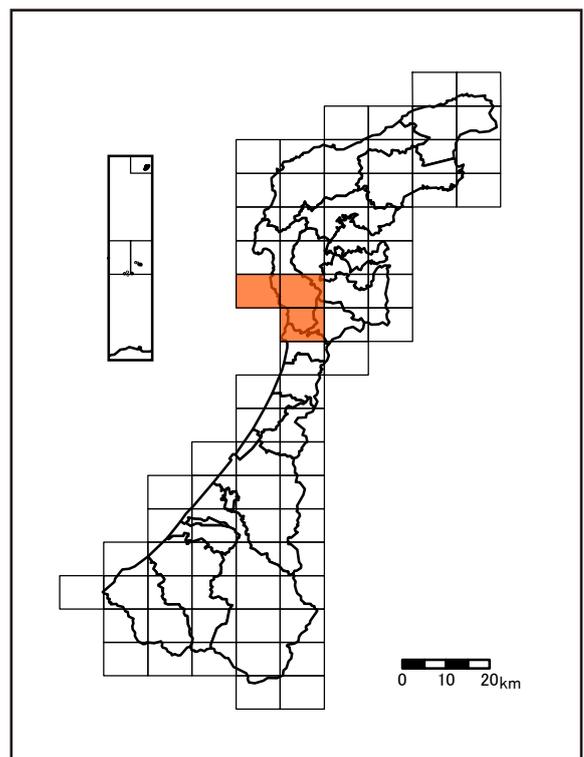
池沼、流水、廃田など。

危険要因

池塘開発、水質汚濁、農薬汚染、産地局限、自然遷移。



白井伸和・2007年8月23日・志賀町



県内の分布